

令和6年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導計画及び年間評価計画（兼シラバス）

科目	学年	教科書名・出版社	授業担当者	単位数
	学科			
言語文化	1年	第一学習社		2
	農業食品科・グリーン環境科・社会福祉科			
科目の目標				
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を、ICTや辞書、補助教材を用いて身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で協働的な学習を通して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 様々な文学作品に興味を持ち、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
評価の観点別割合	知識・技能		40	
	思考・判断・表現		30	
	主体的に学習に取り組む態度		30	

定期考査実施時期：1学期期末考査(6月下旬)、
2学期中間考査(10月上旬)、2学期期末考査(12月下旬)、学年末考査(2月上旬)など

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準	
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度	
4	ことばと出会う「言葉の森を育てよう」①	2	言葉が果たしている役割	○音読と語句・漢字の確認 ○言葉が果たしている役割	【知技】ICTや辞書等を用いて語句と漢字を身に付けている。 【思判表】言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解している。 【主体的】日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。	
4	ことばと出会う「言葉の森を育てよう」②	2	言葉の見直し	○日常使っている言葉と問題点	【知技】ICTや辞書等を用いて語句と漢字を身に付けている。 【思判表】言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解している。 【主体的】日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。	
5	古文に親しむ「古文への招待」「児のそら寝」①	2	古文の言葉の特徴やきまり	○古文の言葉と仮名遣い ○音読と重要古語の確認	【知技】古文の言葉の特徴やきまりを理解している。 【思判表】児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取っている。 【主体的】繰り返し音読し、古文の読みに慣れようとしている。	
5	古文に親しむ「古文への招待」「児のそら寝」②	2	登場人物の行動と心情1	○児と僧たちの行動	【知技】古文の言葉の特徴やきまりを理解している。 【思判表】児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取っている。 【主体的】繰り返し音読し、古文の読みに慣れようとしている。	
5	古文に親しむ「古文への招待」「児のそら寝」③	2	登場人物の行動と心情2	○心情の移り変わり	【知技】古文の言葉の特徴やきまりを理解している。 【思判表】児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取っている。 【主体的】繰り返し音読し、古文の読みに慣れようとしている。	
5	漢文に親しむ「訓読のきまり」「格言」、現代に生きることは「守株」「蛇足」①	4	漢文訓読の方法の理解1	○訓読のきまり ○音読と重要句法の確認	【知技】漢文訓読の方法を理解している。 【思判表】故事成語「株を守る」「蛇足」という言葉の意味について考えを深め、この話で語られている教訓の意義を理解している。 【主体的】繰り返し音読し、漢文訓読のリズムに慣れようとしている。	

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度
6	漢文に親しむ「訓読のきまり」「格言」、現代に生きることは「守株」「蛇足」②	4	漢文訓読の方法の理解2	○訓読のきまり ○音読と重要句法の確認	【知技】漢文訓読の方法を理解している。 【思判表】故事成語「株を守る」「蛇足」という言葉の意味について考えを深め、この話で語られている教訓の意義を理解している。 【主体的】繰り返し音読し、漢文訓読のリズムに慣れようとしている。
6	漢文に親しむ「訓読のきまり」「格言」、現代に生きることは「守株」「蛇足」③	6	教訓の意義の理解	○話の内容の理解 ○教訓の意義	【知技】漢文訓読の方法を理解している。 【思判表】故事成語「株を守る」「蛇足」という言葉の意味について考えを深め、この話で語られている教訓の意義を理解している。 【主体的】繰り返し音読し、漢文訓読のリズムに慣れようとしている。
7	表現を味わう「水かまきり」①	3	登場人物の人間関係や心理の読解	○音読と語句・漢字の確認 ○描写、会話、特徴ある表現に着目	【知技】オノマトペの表現効果をとらえ、ICTや辞書等を用いて語句と漢字を身に付けている。 【思判表】文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取っている。 【主体的】様々な文学作品に興味を持ち、読書に親しもうとしている。
7	表現を味わう「水かまきり」②	1	読書に親しむ態度	○図書館を活用した授業 □読書感想文	【知技】オノマトペの表現効果をとらえ、ICTや辞書等を用いて語句と漢字を身に付けている。 【思判表】文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取っている。 【主体的】様々な文学作品に興味を持ち、読書に親しもうとしている。
9	物語を受け継ぐ「羅生門」①	4	登場人物の心情の変化1	○音読と語句・漢字の確認 ○構成の把握	【知技】ICTや辞書等を用いて語句と漢字を身に付けている。 【思判表】小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取っている。 【主体的】元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深めようとしている。
9	物語を受け継ぐ「羅生門」②	4	登場人物の心情の変化2	○構成の把握	【知技】ICTや辞書等を用いて語句と漢字を身に付けている。 【思判表】小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取っている。 【主体的】元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深めようとしている。

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度
10	物語を受け継ぐ「羅生門」③	6	内容の解釈	○古典作品との比較	【知技】ICTや辞書等を用いて語句と漢字を身に付けている。 【思判表】小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取っている。 【主体的】元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深めようとしている。
10	随筆を楽しむ「徒然草」「枕草子」①	4	古文の言葉の特徴やきまり	○古文の言葉と仮名遣いの確認 ○音読と重要古語の確認	【知技】音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取り、文章の特色を理解している。 【思判表】作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもっている。 【主体的】随筆文学を読み、そのおもしろさを味わおうとしている。
11	随筆を楽しむ「徒然草」「枕草子」②	4	作者のものの見方や感じ方について1	○文章の内容を正確に読み取る	【知技】音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取り、文章の特色を理解している。 【思判表】作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもっている。 【主体的】随筆文学を読み、そのおもしろさを味わおうとしている。
11	随筆を楽しむ「徒然草」「枕草子」③	6	作者のものの見方や感じ方について2	○自分の考えをもつ	【知技】音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取り、文章の特色を理解している。 【思判表】作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもっている。 【主体的】随筆文学を読み、そのおもしろさを味わおうとしている。
12	古人に学ぶ「論語」①	2	漢文訓読の方法の理解1	○訓読のきまり ○音読と重要句法の確認	【知技】『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解している。 【思判表】孔子の思想と現代との関わりについて、自分の考えを深めている。 【主体的】繰り返し音読し、漢文訓読のリズムに慣れようとしている。
12	古人に学ぶ「論語」②	2	漢文訓読の方法の理解2	○訓読のきまり ○音読と重要句法の確認	【知技】『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解している。 【思判表】孔子の思想と現代との関わりについて、自分の考えを深めている。 【主体的】繰り返し音読し、漢文訓読のリズムに慣れようとしている。

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度
1	古人に学ぶ「論語」③	3	孔子の思想と現代との関わりについて1	○内容を正確にとらえる ○孔子の考え方を理解 ○自分の考えを深める	【知技】『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解している。 【思判表】孔子の思想と現代との関わりについて、自分の考えを深めている。 【主体的】繰り返し音読し、漢文訓読のリズムに慣れようとしている。
1	古人に学ぶ「論語」④	3	孔子の思想と現代との関わりについて2	○内容を正確にとらえる ○孔子の考え方を理解 ○自分の考えを深める	【知技】『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解している。 【思判表】孔子の思想と現代との関わりについて、自分の考えを深めている。 【主体的】繰り返し音読し、漢文訓読のリズムに慣れようとしている。
2	物語の広がり「伊勢物語」①	1	古文の言葉の特徴やきまり1	○古文の言葉と仮名遣いの確認	【知技】登場人物の行動や場面の展開を正確に把握している。 【思判表】和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考察することができている。 【主体的】様々な文学作品に興味を持ち、読書に親しもうとしている。
2	物語の広がり「伊勢物語」②	1	古文の言葉の特徴やきまり2	○音読と重要古語の確認	【知技】登場人物の行動や場面の展開を正確に把握している。 【思判表】和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考察することができている。 【主体的】様々な文学作品に興味を持ち、読書に親しもうとしている。
3	物語の広がり「伊勢物語」③	1	和歌が果たしている役割1	○登場人物の行動、場面の展開の把握	【知技】登場人物の行動や場面の展開を正確に把握している。 【思判表】和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考察することができている。 【主体的】様々な文学作品に興味を持ち、読書に親しもうとしている。
3	物語の広がり「伊勢物語」④	1	和歌が果たしている役割2	○和歌に表れた心情を読み取る	【知技】登場人物の行動や場面の展開を正確に把握している。 【思判表】和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考察することができている。 【主体的】様々な文学作品に興味を持ち、読書に親しもうとしている。

令和6年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導計画及び年間評価計画（兼シラバス）

科目	学年	教科書名・出版社	授業担当者	単位数
	学科			
公共	1年	高等学校 新公共 第一学習社		2
	全科			
科目の目標				
<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人間としての在り方生き方についての自覚や、公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>				
評価の観点別割合	知識・技能		40	
	思考・判断・表現		30	
	主体的に学習に取り組む態度		30	

定期考査実施時期：1学期期末考査(6月下旬)、2学期中間考査(10月上旬)、
2学期期末考査(12月下旬)、学年末考査(2月上旬)など

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度
4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	3	・公共的な空間と人間とのかかわり ・社会に参画する自立した主体として	○1社会に生きる私たち 2個人の尊厳と自主・自律 3多様性と共通性 4キャリア形成と自己実現 5伝統や文化とのかかわり	【知技】・人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 【思判表】・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 【主体的】・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
4	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	3	・人間としてのあり方生き方についての探求 ・選択・判断の手がかりとなる倫理的価値	○1人間と社会のあり方についての見方・考え方 2環境保護 3生命倫理 4公共的な空間を形成するための考え方 5よりよく生きる行為者として活動するために	【知技】・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思判表】・幸福、正義、公正などに着目して考えている。 【主体的】・公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
5	第3章 公共的な空間における基本的原理	6	・自立した主体となることに向けて ・よりよい公共的な空間づくりをめざして	○1人間の尊厳と平等 2個人の尊重 3民主政治の基本的原理 4法の支配 5自由・権利と責任・義務 6世界のおもな政治体制 7日本国憲法に生きる基本的原理	【知技】・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思判表】・公共的な空間における基本的原理について考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】・公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
6	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	4	・法や規範の意義と役割	○1私たちの生活と法 2法と基本的人権 3自由・平等と法・規範 4法をよりよく変えていくために	【知技】・法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思判表】・生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。 【主体的】・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
6	第1章 法的な主体となる私たち	2	・契約と消費者の権利・責任	○1さまざまな契約と法 2消費者の権利と責任	【知技】・契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思判表】・幸福、正義、公正などに着目して考えている。 【主体的】・契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしている。
7	第1章 法的な主体となる私たち	4	・司法参加の意義	○1裁判所と人権保障	【知技】・国民の権利を守り、社会秩序を維持するために、公正な裁判が保障され、法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。 【思判表】・具体的な主題を設定し、その主題を追究・解決するために考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的】・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度
8 9 10	第2章 政治的な主体となる私たち	8	・政治参加と公正な世論の形成	○1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉	【知技】・政治参加と世論形成に関わる事柄や課題を理解している。国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について理解している。 【思判表】・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 【主体的】・政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
10 11	第2章 政治的な主体となる私たち	4	・国際社会と国家主権	○1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題	【知技】・国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思判表】・国際法の意義と役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的】・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
11	第2章 政治的な主体となる私たち	4	・日本の安全保障と防衛	○1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和	【知技】・日本国憲法の平和主義について理解を深めることができる。 【思判表】・日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】・日本の安全保障と防衛について、諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。
11 12	第2章 政治的な主体となる私たち	4	・国際社会の変化と日本の役割	○1 今日の国際社会 2 人種・民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	【知技】・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思判表】・国際社会の安定について、国民レベル、国家レベル、国際レベルで何が出来るかを、さまざまな観点から考察し、論拠をもって表現している。 【主体的】・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
12 1	第3章 経済的な主体となる私たち	4	・雇用と労働問題	○1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題	【知技】・企業・家計・政府の三つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちは、どのように経済活動に参加しているのか、理解している。 【思判表】・雇用と労働問題について、日本的雇用慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 【主体的】・雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。
1	第3章 経済的な主体となる私たち	4	・社会の変化と職業観	○1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから	【知技】・社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の諸課題を理解している。 【思判表】・技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察、構想し、論拠をもって表現している。 【主体的】・社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準	
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度	
1 2	第3章 経済的な主体となる私たち	4	・市場経済の機能と限界	○1市場経済と経済運営 2市場経済のしくみ 3経済発展と環境保全 4経済成長と国民福祉	【知技】・経済の基本的なしくみと資本主義経済, 社会主義経済の特徴を理解している。 【思判表】・市場機能の限界について, 政府の役割を多角的に考察, 構想し, 論拠をもって表現している。経済成長が生活に与える影響を, 具体的事例をあげて考察している。 【主体的】・市場経済の機能と限界について, 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
2	第3章 経済的な主体となる私たち	4	・金融のはたらき ・財政の役割と社会保障	○1金融の意義や役割 2政府の経済的役割と租税の意義 3社会保障と国民福祉	【知技】・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思判表】・幸福, 正義, 公正などに着目して, 多面的・多角的に考察し, 表現している。社会保障の意義を理解し, 現在の社会保障の課題について考察している。 【主体的】・金融についての現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。財政の役割と社会保障について, 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
2	第3章 経済的な主体となる私たち	2	・経済のグローバル化	○1国際分業と国際貿易体制 2国際収支と為替相場 3経済のグローバル化と日本 4地域的経済統合の動き 5国際社会における貧困や格差 6地球環境問題 7資源・エネルギー問題 8国際社会のこれから	【知技】・グローバル化の進展により, 貧困や格差の問題, 地球環境問題などの解決が, 地球的な課題となっていることを理解している。 【思判表】・地球環境問題が国際的な問題になっていることや, その解決に向けての取り組みを考察, 構想し, 表現しようとしている。 【主体的】・国際協力のあり方, 国際協調の重要性から, 日本の役割について自分自身の問題として, 主体的に解決しようとしている。	
3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	4	・持続可能な社会づくりの主体となる私たち	○①地球環境問題～排出量取引を考える ②資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える ③生命倫理～ゲノム編集を考える ④情報～インターネットによる投票を考える ⑤国際社会の課題～フェアトレードを考える	【知技】・グローバル化の進展により, 貧困や格差の問題, 地球環境問題などの解決が, 地球的な課題となっていることを理解している。 【思判表】・現代の諸課題を, 「第1編 公共の扉」で学んだことを基に, 幸福, 正義, 公正や公共的な空間における基本的原理を用いて, 考察, 構想し, 論拠をもって表現している。 【主体的】・公共の精神をもった自立した主体となることに向けて, 幸福, 正義, 公正などに着目して, 現代の諸課題を探究する活動を行っている。	

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
数学 I	農業食品科 1年 グリーン環境科 1年 社会福祉科 1年	3

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新高校の数学 I (数研出版) <input type="checkbox"/> 問題集 ポイントノート数学 I (数研出版)
-------------	---

科目の目標

(1) 数と式, 図形と計量, 2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 命題の条件や結論に着目し, 数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力, 図形の構成要素間の関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 社会の事象などから設定した問題について, データの散らばりや変量間の関係などに着目し, 適切な手法を選択して分析を行い, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を養う。

(3) 数学のよさを認識し, 数学を活用しようとする態度, 粘り強く数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすることができる。2次の乗法公式及び因数分解の公式を理解できる。不等式の解の意味や不等式の性質について理解し, 1次不等式の解を求めることができる。</p> <p>2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できる。2次関数の最大値や最小値を求めることができる。2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解できる。2次不</p>	<p>問題を解決する際に, 既に学習した計算の方法と関連付けて, 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 1次不等式を問題解決に活用することができる。</p> <p>2次関数の式とグラフとの関係について, 多面的に考察することができる。2つの数量の関係に着目し, 日常の事象や社会の</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする。粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする。</p>

<p>等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>鋭角の三角比の意味と相互関係について理解できる。三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めることができる。正弦定理や余弦定理について三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。</p> <p>集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。</p> <p>データの用語の意味やその使い方を理解することができる。情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めることができる。</p>	<p>事象などを数学的に捉え、問題を解決することができる。</p> <p>図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式を使って導くことができる。図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決することができる。</p> <p>集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。</p> <p>データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。目的に応じて複数のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析することができる。</p>	
---	---	--

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・学習内容を暗記するのではなく、図形や文字などから概念として理解できる。 ・練習問題などの演習に自ら取り組み、立式から計算まで完結して解答できる。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・発展的な問題にも学習した知識を組み合わせ、論理的に考察して解法を表現できる。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・課題に計画的に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、短期・中期の課題を解決していくことができる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	数と式	7	<ul style="list-style-type: none"> ・計算の基本 ・単項式と多項式 ・多項式の加法と減法
5	数と式	9	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式の乗法 ・展開の公式 ・因数分解 ・展開、因数分解の工夫
6	数と式	11	<ul style="list-style-type: none"> ・根号を含む式の計算 ・実数 ・1次方程式 ・不等式
7	数と式	5	<ul style="list-style-type: none"> ・不等式の解
8	2次関数	3	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 ・1次関数のグラフ ・2次関数のグラフ（1）
9	2次関数	7	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフ（2）
10	2次関数	10	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の最大値・最小値 ・グラフと2次方程式 ・グラフと2次不等式

11	図形と計量	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直角三角形 ・ 三角比 ・ 三角比の利用 ・ 三角比の相互関係 ・ 鈍角の三角比
12	図形と計量	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正弦定理 ・ 余弦定理 ・ 三角形の面積
1	集合と命題	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合 ・ 命題と集合 ・ 必要条件と十分条件
2	データの分析	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの整理 ・ データの代表値 ・ データの散らばり
3	データの分析	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの相関 ・ 仮説検定の考え方

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
科学と人間生活	農業食品科・ グリーン環境科・ 社会福祉科1年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 科学と人間生活（数研出版）
-------------	--

科目の目標		
<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身に付けるようにする。</p>	<p>観察、実験等を行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。</p>	<p>自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準 [わかった・できた] ・ワークシートや課題に対して自ら取り組み、内容を理解したうえで適切な答えを記入することができる。 ・実験において、仮説を立証するために必要な操作を適切に行うことができる。</p>	<p>B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・授業の導入時や各種問いについて、専門用語を用いて説明することができる。 ・実験において、知識や条件をもとに仮説を立て、実験後に考察して結論を出すことができる。</p>	<p>B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習活動や実験に真剣に取り組み、安全・スムーズに進むようにするために、仲間と協力し考えながら、仮説を立てたり考察したりすることができる。 [課題に対する調整力] ・仲間の意見や考えを聞いたうえで、自分の意見や考えに反映させることができる。</p>
<p>主な評価場面 ※座学・実験：「知識・技能」「思考・判断・表現」 「主体的に学習に取り組む態度」 ※定期考査：「知識・技能」「思考・判断・表現」。</p>		<p>※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。</p>
<p>特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	序編 科学技術の発展	1	人間生活の歴史
		2	
		3	
	第2編 生命の科学 第2章 微生物とその利用	1	身まわりの微生物
	2		
	3	微生物とその発見の歴史	
		4	
5		5	発酵食品への微生物の利用
		6	
		7	乳酸発酵とアルコール発酵
		8	
6		9	医薬品への微生物の利用
		10	
		11	生態系における微生物
		12	
		13	
		14	環境の浄化と微生物
		15	
7	第3編 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用	1	光の色
		2	
		3	光の直進と反射
		4	
		5	
8		6	光の屈折と全反射
		7	
9		8	光の分散と散乱
		9	
		10	
		11	光の回折と干渉
		12	
		13	電磁波
		14	

10		15	電磁波の利用
	第1編 物質の科学	1	金属と人間生活
	第1章 材料とその利用	2	
		3	身のまわりの金属と製錬
		4 5	
11		6	金属のさびとその防止
		7	
		8	プラスチックとその性質
		9	
12		10	プラスチックの成り立ち
		11	
		12	さまざまなプラスチック
		13	
		14	資源の再利用
		15	
1	第4編 宇宙や地球の科学	1	日本列島とプレート
	第1章 太陽と地球	2	
		3	地震のしくみと地震活動
		4	
		5	地震による災害
		6	
2		7	マグマがつくる火山と景観
		8	
		9	
		10	火山がもたらす恵みと災害
		11	
		12	水のはたらきと自然景観
		13	
		14	土砂災害と洪水
		15	
3	終編 これからの科学と人間生活	1	課題研究の進め方
		2	

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
体育	1年 AGW 科	3

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な課題解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p>	<p>生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して技術の名称や実践、ルールやマナーを理解しようとしている。 ・課題解決法、練習法、試合法を理解しようとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに毎時の反省を記入し、自己評価をしようとしている。 ・互いに助け合い、教えあい、高め合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け事故の責任を果たそうとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動の声出し、活動時の周囲への声掛け、準備・片付けを積極的に行おうとしている。 ・活動の目的を理解し、実践しようとしている。 ・他者と協力して周囲に配慮をしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、スキルテスト、体育理論で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ダンス 体づくり運動	10	現代的なリズムのダンス 体ほぐし運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画
5	球技（選択①）	12	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
6	球技（選択①）	2	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ 複数の泳法で泳ぐ、又はリレー。 着衣泳
	水泳	12	
7	水泳	2	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境
	体育理論		
8	球技（選択②）	3	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
9	球技（選択②）	12	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン

			<input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
10	球技（選択③）	1 2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
11	陸上競技（長距離走）	1 2	20分間走・4キロ走
12	陸上競技		20分間走・4キロ走
1	ダンス 球技	9	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
2	ダンス 球技	9	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
3	ダンス 球技	7	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
保健	1年 AGW 科	1

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
-------------	--

科目の目標		
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 ・単元テストの内容を理解しようとしている。	B 評価の規準 ・単元の内容を理解し、文章表現しようとしている。 ・グループワークでの話し合いにより、単元の学びを深めようとしている。 ・発表の内容を分かりやすく説明したりスライドにまとめたりしようとしている。	B 評価の規準 ・互いに協力して教え合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
※単元テスト、グループ発表の内容、スライドの作成		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	健康の考え方と成り立ち	1	座学、単元テスト
5	私たちの健康の姿	1	座学、単元テスト
6	生活習慣病の予防と回復	6	調べ学習（グループワーク）
7	がんの原因と予防		
	がんの治療と回復		
	運動と健康 食事と健康 休養、睡眠と健康		
		1	クラス別発表（グループ）
8	精神疾患の特徴	2	座学、単元テスト
9	精神疾患の予防		
10	精神疾患からの回復		
11	喫煙と健康	3	調べ学習（グループワーク）
12	飲酒と健康		
	薬物乱用と健康		

		1	クラス別発表（グループ）
1	健康に関する意思決定・行動選択	1	座学、単元テスト
2	健康に関する環境づくり	1	座学、単元テスト
3	<ul style="list-style-type: none"> 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 	5	調べ学習（グループワーク）
		1	クラス別発表・学年発表（グループ）

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
音楽1	普通科1年、総合ビジネス科1年、農業食品科1年、グリーン環境科1年、社会福祉科1年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 MOUSA I (教育芸術社) <input type="checkbox"/> 高校生の歌集 つどい
-------------	---

科目の目標		
<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</p>	<p>自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p>	<p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。	B 評価の規準 [自ら表現意図を持っている] ・自己のイメージをもって歌唱、器楽表現ができている。	B 評価の規準 [主体的・協働的] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、発表ができる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、実技試験で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	【歌唱】 曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう。	6	校歌/Ave Maria 「ヴォイス・トレーニング」 翼をください
5 6	【歌唱】 J-POP や歌謡曲の特徴を理解して歌おう。 【鑑賞】 音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	10	【歌唱】 Lemon/星に願いを/負けないで/クリスマス・イヴ/若者の全て 【鑑賞】 組曲《動物の謝肉祭》
7	実技試験 【鑑賞】 ピアノによる様々な表現を聴き取ろう。	6	リスト〈ラ・カンパネラ〉 ピアノ・ソナタ第23番《熱情》

8	【歌唱】【鑑賞】	8	歌唱：Memory/美女と野獣
9	ミュージカル・ナンバーを歌おう		鑑賞：ミュージカル《キャッツ》/ミュージカル映画『美女と野獣』
10	【器楽・創作】	10	基本奏法を身に付ける
11	和楽器（箏）に親しみ，演奏に挑戦しよう。		音階練習 さくら さくら変奏曲
11	【器楽】	8	7つのコード
12	表現を工夫してギター弾き歌いに挑戦しよう。 実技試験		セーハを使う曲 ストローク奏法 日曜日よりの使者
1	【創作】【歌唱】	8	故郷
2	発音や発声を工夫して声によるアンサンブルをつくろう。		ぼくはぼく サザエさん 創作：「オノマトペでリズム・アンサンブルをつくろう」
3	【鑑賞】	4	アリラン
	世界の諸民族の音楽 1年間のまとめ		オルティンドー

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
美術 I	普通科、総合ビジネス科、農業食品科、グリーン環境科、社会福祉科 1年	2

使用教材	□美術 1（光村図書）
-------------	-------------

科目の目標		
美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
33%	33%	34%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B評価の規準 [わかった・できた] ・題材に関する知識を学び取るっている。 ・題材を表現するための道具を扱う技術、技法を理解している。 ・美術作品の良さ、作家の表現の意図や工夫を学び取ろうとしている。	B評価の規準 [よく考え、考えをまとめ、表現できた] ・題材の特徴を捉え、主題を考え、構想している。 ・構想をもとに素材の特性を理解しながら表現しようとしている。	B評価の規準 [粘り強さ] [自分なりの工夫] ・学習活動に真剣に取り組んでいる。 ・構想をもとに自分なりの表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。 ・他者の作品の良さを感じ、学び取ろうとしている。 ※作品の未提出や私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価になりません。
※定期考査なし。授業態度、作品制作、提出物で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・年間の目標や美術の領域を理解する
5	「身近なものを描く」 ～鉛筆デッサン～	8	・鉛筆の削り方 ・鉛筆の描く時の持ち方 ・鉛筆の調子の乗せ方 ・立体表現 ・陰影のつけ方 ・質感表現 ・果物、野菜のデッサン ・相互鑑賞
6	「点が生み出す表情」 ～ピクセルアート（ドット絵）～	10	・ピクセルアートの美術作品を鑑賞し、特徴を学ぶ ・色についての基礎知識を学ぶ
7			・平塗りの技法を身に付ける ・ピクセルアートの絵柄を考え、制作する

			<ul style="list-style-type: none"> ・相互鑑賞
8			
9	「マークやサインで伝える」 ～ロゴマークデザイン～	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローイングアプリ（アイビスペイント）の扱い方を身に付ける ・ロゴマークの分析をもとにデザイナーの表現意図や工夫を学ぶ ・オリジナルのロゴマークデザインを考える ・デザイン画をドローイングアプリで清書する ・相互鑑賞
10			
11	「干支の動物を描く」 ～消しゴムハンコ～	10	<ul style="list-style-type: none"> ・消しゴムハンコ作家の制作の様子や作品を見て特徴や制作手順、技法を学ぶ ・練習課題に取り組み、カッターなどの道具を扱う技能を高める ・干支の動物の特徴を踏まえながら個性的なデザインを考える ・デザイン案をもとに消しゴムハンコを彫り、紙に刷る ・相互鑑賞
12			
1	「西洋美術史」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代までの西洋美術の特徴を知ることによって諸外国の美術作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じ取る。 ・日本美術との相違点や共通点などを考え、見方や感じ方の理解を深める。
2	「生命感をあらわす」 ～心動かされる動物像を作る～	12	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻家三沢厚彦の作品「ANIMALS」を鑑賞し、単純化されても動物の本質に迫る表現の面白さを学ぶ ・自分なりの表現で動物の絵を描く ・絵をもとに断熱材を使い、動物像を制作する ・相互鑑賞
3			

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
書道 I	普通科、総合ビジネス科、農業食品科、グリーン環境科、社会福祉科 1年	2

使用教材	□書 I (光村図書)
------	-------------

科目の目標		
<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p>	<p>書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の基準 [わかった・できた] ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。 ・単元に関する知識を学び取っている。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・用筆、運筆、字形を構想し工夫し、相手に伝えることができている。 ・全体の調和や目的に則した表現形式など、意図に基づいて構想・工夫し、相手に伝えることができている。	B 評価の規準 [主体的] ・書の学習を通して自らの創造的な力を高めようとしている。自らの感性を高め、書の伝統と文化に親しもうとしている。 [粘り強さ] ・表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。
※定期考査は実施しません。 提出された作品やワークシート、授業態度で評価します。		※作品やワークシートの未提出、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人は C 評価となります。
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	4	・中学校国語科書写で学んだことの確認 ・用具用材について～文房四宝～ ・姿勢や執筆法
5	【漢字の書】 楷書の学習 楷書古典の鑑賞、比較	2	・楷書の特徴 ・表現の比較
6	楷書古典の臨書 ① 九成宮醴泉銘	5	・九成宮醴泉銘の臨書 直線的で鋭い点画 緻密に構成された点画 縦長で背勢

7	② 牛楸造像記	5	<ul style="list-style-type: none"> ・牛楸造像記の臨書 鋭角的な点画 点画の角張った字形(方勢)
8			
9	③ 顔氏家廟碑	5	<ul style="list-style-type: none"> ・顔氏家廟碑の臨書 力のこもった用筆 蚕頭燕尾 正方形で向勢
10	楷書の創作	5	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の楷書古典の中から一つ選ぶ ・古典の特徴を生かした創作作品の制作
11	行書の学習 行書古典の臨書 ① 蘭亭序	6	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の特徴 ・蘭亭序の臨書 流れの中に抑揚を利かせた用筆 多様な字形
12	② 風信帖	5	<ul style="list-style-type: none"> ・風信帖の臨書 重厚感のある用筆 安定した字形
1	【仮名の書】 仮名の学習 古筆の臨書	1	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成り立ちについて ・いろは(単体) ・蓬萊切 ・三色紙(散らし書き) ・創作
2			
3	【漢字仮名交じりの書】 漢字仮名交じりの書の学習 漢字仮名交じりの書の創作	1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の変遷 ・表現の工夫 ・相互鑑賞

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
英語コミュニケーションⅠ	農業食品科 グリーン環境科 社会福祉科 1年	3

使用教材	<input type="checkbox"/> VISTA English Communication Ⅰ (三省堂)
-------------	--

科目の目標		
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの Lesson において、新しく学習する文法事項や、これまで学習した文法事項の表現に注意しながら、内容を理解する技能を身に付けている。 ・文章の趣旨を考えながら、その内容について詳しく話して伝える技能を身に付けている。 ・文章の内容について基本的な語句や文を用いて、詳しく書いたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章についての概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉えている。 ・文章の趣旨を考えながら、その内容について詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 ・文章の内容について基本的な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章についての概要や要点、必要な情報を、主体的に聞き取って捉えようとしている。 ・理解を深めるために、文章の趣旨を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ・文章の趣旨を考えながら、その内容について主体的に詳しく話して伝えようとしている。 ・文章の内容について基本的な語句や文を用いて、主体的に詳しく書いて伝えようとしている。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[文法理解]</p> <p>・文法について理解しており、プリントやノート等に適切にまとめている。</p> <p>[話すこと、書くこと]</p> <p>・本文の内容について、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり、書いたりして伝える技能を身につけている。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[話すこと]</p> <p>・本文の内容について、情報や考え、気持ち等を論理的に伝えたり、話したりしている。</p> <p>[書くこと]</p> <p>・本文の内容について、情報や考え、気持ち等を論理的に書いて伝えている。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[書くこと]</p> <p>・本文の内容について、話し手に配慮しながら、主体的に話を聞き、聞いた内容をプリントやノート等に適切にまとめている。</p> <p>[読むこと、話すこと]</p> <p>・本文の内容について、聞き手に配慮しながら、主体的に書かれていることについて読んだり、話したりしている（発音練習、発表などが含まれます）。</p>
<p>※「知識・技能」は、定期考査や単元テストで主に判断します。</p> <p>※「思考・判断・表現」は、定期考査やスピーキングテスト等で主に判断します。</p>		<p>※授業への不参加や授業中の居眠りが目立ったり、私語が多く周囲の学習の妨げになる場合はC評価となります。</p>
<p>成果や内容が特に顕著な場合は A評価 とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	授業オリエンテーション	2	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方、学習方法についての説明 ・年間学習指導計画及び評価基準の説明
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● A L Tとのチームティーチングを実施（月に2～3時間程度） ● 個別にスピーキングテストを実施（年2回、1・3学期） </div>		
	ののちゃん英文法	2	・中学で学んだ主語、be 動詞、一般動詞、目的語、形容詞、副詞、前置詞、冠詞を確認する。
	Lesson 1 Colors of Spring	2	・春についての対話から、春のイメージカラーは何色かを聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 1		
	Section 2	2	・聖パトリックの祭日には何をするか、聞き取ったり読み取ったりする。
	まとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・色／春について、意見を交換する。 ・be 動詞・一般動詞の現在形の使い方を確認する。

5	Lesson 2 Dick Bruna	2	・ディック・ブルーナさんについての対話から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 1		
	Section 2	2	・ディック・ブルーナさんの功績について聞き取ったり読み取ったりする。
	まとめ	1	・キャラクター／本について、意見を交換する。 ・be 動詞・一般動詞の過去形の使い方を確認する。
5	表現活動	3	・自由英作文や発表を実施
5	Lesson 3 Interesting Sports	2	・対話から、スラックラインというスポーツの概要を聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 1		
	6	Section 2	2
	まとめ	1	・スポーツ／過去の行動について、意見を交換する。 ・進行形の使い方を確認する。
6	Lesson 4 Pictograms	2	・オリンピックでのピクトグラムの役割について概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 1		
	Section 2	2	・分かりやすいピクトグラムに必要な条件は何かを聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 3	2	・海外からの訪問者にも理解できるピクトグラムはどのようなものか、理解して考えを深める。
	まとめ	1	・オリンピック／ピクトグラムについて、意見を交換する。 ・助動詞／動名詞の使い方を確認する。
6	表現活動	3	・自由英作文や発表を実施
7	Lesson 5 We Are Part of Nature	2	・岩合光昭さんへのインタビューから、撮影の秘訣を聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 1		
	Section 2	2	・岩合光昭さんが動物写真家になったきっかけを聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 3	2	・岩合光昭さんが子どもたちに望むことを理解して考えを深める。
	まとめ	1	・ネコ／職業／自然／ポスターへの意見についてやりとりしたり、ポスターの提案理由について書いて発表する。 ・不定詞の使い方を確認する。
9	Lesson 6 Machu Picchu	2	・マチュ・ピチュの建造物の特徴について、聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 1		
	Section 2	2	・マチュ・ピチュにある巨大な石の謎について、聞き取ったり読み取ったりする。

	Section 3	2	・マチュ・ピチュの自然と人々の暮らしはどのようなものだったかについて、理解して考えを深める。
	まとめ	1	・マチュ・ピチュ／野菜について、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 ・現在完了形の使い方を確認する。
9	表現活動	3	・自由英作文や発表を実施
10	Lesson 7 Artificial Intelligence	2	・マンガの中のドラえもんはどのようなものかについて、聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 1		
	Section 2	2	・AI 搭載のロボット掃除機ができることについて聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 3	2	・AI 搭載のペットロボットができることについて理解して考えを深める。
	まとめ	1	・ロボット／ペットについて、意見を交換する。 ・受け身の使い方を確認する。
11	Lesson 8 Is there a Santa Claus?	2	・少女がサンタクロースについて知りたかったことについて、聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 1		
	Section 2	2	・フィンランドに住むサンタクロースの生活について、概要や要点を把握する。
	Section 3	2	・新聞の編集者から少女に宛てた答えはどのようなものだったか理解して考えを深める。
	まとめ	1	・サンタクロース／信念について、意見を交換する。 ・関係代名詞の使い方を確認する。
12	Lesson 9 Kid' s Guernica	2	・ピカソが『ゲルニカ』を描いたきっかけについて、聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 1		
	Section 2	2	・「キッズゲルニカ」の活動内容について、概要や要点を把握する。
	Section 3	2	・「キッズゲルニカ」の活動の目的を理解して考えを深める。
	まとめ	1	・ゲルニカ／絵を描くことについてやりとりしたり、アンケート／動画について発表することができる。 ・分詞／関係副詞の使い方を確認する。
1	Lesson 10 Ethical Fashion	2	・エシカルという言葉の意味は何かについて、聞き取ったり読み取ったりする。
	Section 1		
	Section 2	2	・一部の衣服が環境や生産者へ与える影響について、概要や要点を把握する。

	Section 3	2	・人々の生活をより良くするためにすべきことは何かを理解して考えを深める。
	まとめ	1	・ファッション／比較について、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う。 ・比較の表現の使い方を確認する。
2	表現活動	3	・自由英作文や発表を実施
2 ・ 3	Enjoy Reading The Story of Ohin, a Japanese Cinderella	6	・坪内逍遙による日本版『シンデレラ』の大意を把握する。 ・仮定法過去を用いて、自分の考えを述べる。

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
家庭総合	社会福祉科・1年	2	水上 結加里

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 家庭総合 自立・養成・創造（東京書籍） <input type="checkbox"/> 家庭科学習ノート（熊本県高等学校教育研究会家庭部会編）
-------------	--

科目の目標		
<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p>	<p>家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p>	<p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・生活に必要な知識や技術を理解し、身に着けることができた。	B 評価の規準 [よく考え、自分の意見を説明できた] ・学習内容に関して自分事としてとらえ、自分の考えを記述したり、発表したりできた。	B 評価の規準 [粘り強く取り組む] ・問いに対して積極的に発言した。 ・忘れ物がなく、授業に真剣に取り組んだ。 ・提出物を期限に遅れず提出できた。
※定期考査、作品、学習プリント、発表、学習の記録、実技試験		※学習プリント、実習の記録 学習、実習への取り組む姿勢
[A 評価] ・家庭生活や地域社会にも目を向け、課題解決のために学習に取り組んだ。 ・学んだことや実習で身に着けたことを家庭で実践できた。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	家庭科の学び方	1	
	生活に生かそう	1	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動
	生涯を見通す	3	<ul style="list-style-type: none"> ・人生を展望する ・目標を持って生きる
5	人生をつくる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「人生100年」時代を生きる ・一人で暮らす ・パートナーと生きる ・子どもと暮らす・親を支える ・自分のライフスタイルを選ぶ
6	家族・家庭を見つめる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭をどうとらえるか ・社会の中の家族・家庭 ・家族と法律
	これからの家庭生活と社会	2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族生活を担う ・家庭生活と地域・福祉
7	被服をつくる	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンの使い方 ・被服実習（エプロン製作）

8	ホームプロジェクト	2	・ホームプロジェクト発表会
9	被服をつくる	12	・被服実習（エプロン製作）
10			
11	衣服の役割を考える	2	・高校生と衣生活 ・着るとは ・世界の民族衣装 ・被服の保健衛生的機能 ・被服の社会的機能
	被服を入手する	4	・被服の手入れ ・被服と表示 ・被服の材料 ・被服材料の性能 ・被服材料の性能の改善
12	被服を管理する	2	・被服の手入れ ・洗剤と漂白剤の働き ・仕上げ、保管
	これからの衣生活	1	・被服の生産と消費 ・被服の再資源化 ・環境に配慮した衣生活
1	家庭科技術検定被服製作4級	10	・基礎縫い なみ縫い、まつり縫い、ボタン付け、 半返し縫い ・模擬検定 ・検定本番 ・巾着づくり
2	命をはぐくむ	3	・次世代の育成 ・青年期の責任 ・命の誕生
	子どもの育つ力を知る	4	子どもの育つ力 ・生まれつき持っている能力 ・心身の発達 ・子どもと遊び
3	これからの保育環境	3	・現代の課題 ・地域や社会の関わり ・子どもの権利と福祉

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
社会福祉基礎	社会福祉科1年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 社会福祉基礎（実教出版）
------	---------------------------------------

科目の目標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力を次の通り育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、各法律をもとに普段の暮らしが成り立っている事を踏まえ、関連する技術を身に付けるようにする。	社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ論理的思考や科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、常に向上心を持ち福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識・技能] ・社会福祉の実践において必要な知識について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	B 評価の規準 [思考] ・社会福祉の展開に関する諸問題を発見することができる。 [判断] ・福祉倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決をする力を身に付けている。 [表現] ・自分の考えを文章や発表を通して表現することができる。 [評価物] ・課題レポート内容	B 評価の規準 [主体的] ・社会福祉基礎の学びの中で、現代の私たちを取り巻く社会や福祉に対する関心を高めることができる。 ・健全で持続的な社会をめざして自ら学び、問題解決に向けて、他者と協力し、取り組むことができる。 [評価物] ・提出物（提出状況） ・課題レポート内容
※定期考査及び単元・小テスト 「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価対象とする。		
A 評価		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	【第2編】 社会福祉の歴史と次代の展望 ①諸外国における社会福祉	7	・イギリス、福祉国家への歩み ・アメリカ、社会福祉の展開 ・北欧の社会福祉（スウェーデン・デンマーク） ・アジアの社会福祉（E P A）
5	【第1編】 社会福祉の歴史と次代の展望 ①諸外国における社会福祉	7	・日本の人口推移 ・少子高齢化と人口減少 ・合計特殊出生率 ・家族と働き方の変化 ・家族形態・世帯 ・統計データ資料 ・人の一生と社会福祉の関わり

			・ QOL
6	②社会福祉の理念	3	・ 人権の尊重（各種権利条約） ・ 日本国憲法
7	【第2編】 社会福祉の歴史と次代の展望 ②日本における社会福祉	12	・ 隣保相扶 ・ 福祉を切り開く先駆者 ・ 方面委員制度 ・ セツルメント運動 ・ 救護法 ・ 戦時中の福祉 ・ 戦後の復興、福祉の進展 ・ 福祉3法・6法 ・ 社会福祉事業法 →社会福祉法
8			
9	【第3編】 生活を支える社会福祉・社会保障制度 ①社会保障制度の意義と役割	6	・ 社会保険 ・ 社会福祉 ・ 公的扶助 ・ 各種手当 ・ 公衆衛生および医療 ・ 社会保障給付費
10 11	【第3編】 生活を支える社会福祉・社会保障制度 ⑥国民の生活を支える社会保険制度	12	・ 医療保険 ・ 年金保険 ・ 雇用保険 ・ 労働者災害補償保険 ・ 介護保険
12	⑤生活支援のための公的扶助	6	・ 公的扶助＝生活保護 ・ 福祉事務所 ・ 4原理4原則 ・ 8扶助 ・ 生活保護に関わる専門職 ・ 生活困窮者自立支援法
1	【第4編】 人間関係とコミュニケーション ①コミュニケーションの基礎	4	・ コミュニケーションの意義と役割 ・ 傾聴・受容・共感
	②支援における人間関係の形成		・ 自己覚知・他者理解
2 3	③社会福祉における支援活動の概要	6	・ 社会福祉援助活動 ・ ケースワークの原則 ・ 地域を基盤としたソーシャルワーク ・ 福祉・介護人材の養成とキャリア形成

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
コミュニケーション技術	社会福祉科1年	2

使用教材	□教科書 実教出版株式会社 コミュニケーション技術
-------------	---------------------------

科目の目標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、対人援助や福祉実践の場での人間関係の構築に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対人援助や人間関係の構築として、福祉実践におけるコミュニケーションと関連させながら体系的・系統的に理解するとともに、実践的・体験的な学習活動を通して関連する技術を身につけている。	福祉実践におけるコミュニケーションに関する課題を発見し、介護者としての倫理観をふまえて、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。	福祉実践における対人援助や人間関係の構築のため、福祉の見方・考え方を働かせ、適切な対人援助に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 定期的に小テストを実施し、授業内容が理解できているかを確認する。 【評価物】 ・小テスト	B 評価の規準 グループワークや演習などを取り入れながら、コミュニケーション能力や観察力、判断力、思考力などを身に付ける。 【評価物】 ・ワークシート ・授業中の発言	B 評価の規準 ・授業中の態度（積極的に参加・発言しているか？） ・提出物やノートの状況（期日をもっているか？メモはとられているか？空欄なく書いているか？） 【評価物】 ・提出物 ・課題レポート
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	コミュニケーションの意義と役割	2	人間の理解と人間関係
		3	福祉実践におけるコミュニケーション
5	コミュニケーションの基本技術	5	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション
		3	受容と共感
6	サービス利用者や家族とのコミュニケーション	5	対人援助におけるコミュニケーションの実際
		2	集団におけるコミュニケーション
7	サービス利用者や家族との関係づくり	3	利用者や家族との関係づくり
		2	利用者や家族への支援
8			
9	サービス利用者に応じたコミュニケーション	4	高齢者とのコミュニケーション
10		5	認知症のある人とのコミュニケーション

11	サービス利用者に応じたコミュニケーション	5	視覚障害のある人とのコミュニケーション
		2	点字を学ぶ
12		5	聴覚障害のある人とのコミュニケーション
		2	手話を学ぶ
1	福祉実践におけるチームのコミュニケーション	3	記録の意義と目的
		3	記録の種類
		3	記録の方法と管理
		3	チームのコミュニケーション
		2	情報の共有化
		3	会議

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
生活支援技術	社会福祉学科 1年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 実教出版
------	-------------------------------

科目の目標		
自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解させ、基礎的な介護の知識と技術を習得させるとともに、様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育てる。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自立生活の支援に必要な生活支援技術について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	自立生活の支援に必要な生活支援技術に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、生活支援技術に基づいた自立生活の支援に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識・技術] ・自立生活を人間の尊厳、安全安楽、協働などの視点から捉え「こころとからだの理解」と関連付けて、生活の質の向上やサービス利用者の状態に合った自立生活の支援の必要性について理解できる。 [評価物] ・単元テスト（実技を含む） ・小テスト	B 評価の規準 [思考] ・自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。 [評価物] ・レポート ・提出物	B 評価の規準 [学びに向かう力] ・授業中の個人やグループで行う活動において、記録や発言などに主体的に取り組む。 ・定期考査や小テストのやり直しを通して、自らの課題に気づき改善しようとする力を身に付ける。
※定期考査		
A 評価		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	【第2編】 自立に向けた生活支援技術 <第1章> 居住環境の整備①	5	・ベッドメイキング ・シーツのたたみ方 ・三角コーナー・四角コーナーの作り方 ・枕の作り方
5	<第4章> 移動の介護①	4	・ボディメカニクス ・ボディメカニクスの7原則 ・からだの自然な動きの理解
6	<第4章> 移動の介護②	9	・体位変換 ・体位の名称 ・安楽な体位

7	<第4章> 移動の介護③	9	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす介助 ・車いすの名称 ・車いす介助の方法 ・歩行介助 ・手引き歩行 ・杖歩行
8			
9	<第3章> 身じたくの介護①	7	<ul style="list-style-type: none"> ・整容における介助 ・洗髪・乾髪 ・洗顔・清拭 ・爪切り
10	<第3章> 身じたくの介護②	9	<ul style="list-style-type: none"> ・着脱介助 ・かぶり服の介助 ・前開きの服の介助 ・ズボンの介助
11	<第3章> 身じたくの介護③	5	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア ・ブラッシング ・含嗽 ・義歯洗浄 ・ガーゼでの口腔ケア
12	<第5章> 食事の介護	5	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の介助 ・嚥下の確認 ・ポジショニング ・とろみ・食事形態の確認
1	<第6章> 入浴・清潔保持の介護	4	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴の意義と目的 ・入浴の効果 ・手浴・足浴の介助 ・手浴の方法・手技 ・足浴の方法・手技
2	<第1章> 居住環境の整備②	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上に利用者様がいる状態でのシーツ交換 ・安楽な体位のままシーツ交換
3	1年間の振り返り	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事例に基づく支援の方法を検討する

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
介護総合演習	社会福祉科1年	1

使用教材	<input type="checkbox"/> 介護総合演習・介護実習（中央法規）
------	--

科目の目標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の創造と発展に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識・技術] ・地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。	B 評価の規準 [思考] ・地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探求している。 [判断] ・科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 [表現] ・自分の考えを文章や発表を通して表現することができる。 [評価物] ・課題レポート内容	B 評価の規準 [主体的] ・地域福祉や福祉社会の発展のために福祉の見方・考え方を働かせ、協働的に取り組むことができる。 [評価物] ・提出物（提出状況） ・課題レポート内容
※定期考査及び単元・小テスト 「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価対象とする		
A 評価		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第1章 介護総合演習で何を学ぶか	2	<ul style="list-style-type: none"> 介護総合演習の目的 1年時の介護実習について
5	第2章 介護実習で何を学ぶか	2	<ul style="list-style-type: none"> 介護実習の意義と目的 介護実習の種類
6	第3章 介護実習準備、実習中・実習後の学び	4	<ul style="list-style-type: none"> 介護実習への心構え ファイル作成 介護実習前の学習の内容と方法 介護実習後の学習の内容と方法 自己紹介シート作成 個人票作成

			<ul style="list-style-type: none"> ・誓約書について
	第4章 実習先の特徴、実習先での学び	2	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先概要調べ
8			
9	第3章 介護実習準備、実習中・実習後の学び	4	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先概要調べ発表 ・実習中指導 ・実習での情報共有
10	第3章 介護実習準備、実習中・実習後の学び	4	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実習 ・介護実習報告会発表準備 ・介護実習報告会発表
11		4	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実習 ・介護実習報告会発表準備 ・施設お礼状作成 ・実習振り返り
12		4	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実習報告会発表
1	第4章 実習先の特徴、実習先での学び	4	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次での実習施設について
2	第4章	4	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションについて
3	実習先の特徴、実習先での学び		

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
介護実習	社会福祉科1年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 介護総合演習・介護実習（中央法規）
------	--

科目の目標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、根拠に基づいた介護及び支援を実践するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
介護及び支援の実践について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ化学手金根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
20%	40%	40%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識・技術] ・介護及び支援の実践について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 [評価物] ・実習評価表（施設）	B 評価の規準 [思考] ・介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 [判断] ・科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 [表現] ・自分の考えを文章や発表を通して表現することができる。 [評価物] ・実習評価表（施設）	B 評価の規準 [主体的] ・自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組むことができる。 [評価物] ・提出物（提出状況） ・実習記録 内容 ・実習評価表（施設）
※定期考査なし		
A 評価		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4			
5			
6			
7			
8			
9	介護実習 I 期	33	・コミュニケーションの実践

	9月下旬 (5日間)		<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の実践 ・多職種協働及びチームケアの理解
10	介護実習Ⅱ期 10月上旬 (5日間)	33	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの実践 ・介護技術の実践 ・多職種協働及びチームケアの理解
11			
12			
1			
2			
3			

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
こころとからだの理解	社会福祉科1年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> こころとからだの理解（実証出版）
------	---

科目の目標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護を実践するための人間に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識・技術] ・自立支援に必要なこととからだに関する知識を理解し、関連する技術を習得する。 [評価物] ・単元テスト ・小テスト	B 評価の規準 [思考] ・自立支援に必要なこととからだに関する課題を発見し、科学的根拠にもとづいて解決する力を身に付ける。 [評価物] ・提出物 ・課題レポート	B 評価の規準 [学びに向かう力] ・授業中の個人やグループで行う活動において、記録や発言などに主体的に取り組む。 ・定期考査や小テストのやり直しを通して、自らの課題に気づき改善しようとする力を身に付ける。 [評価物] ・提出物（提出状況） ・課題レポート
※定期考査		
A 評価		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第1編 こととからだの基礎的理解 第1章 こととからだのしくみの理解	1	・健康意識 ・健康寿命
	第1編 こととからだの基礎的理解 第1章 こととからだのしくみの理解	2	・人間の基本的感情
5	第1編 こととからだの基礎的理解 第1章 こととからだのしくみの理解	4	・記憶の分類 ・知能の定義 ・検査
6	第1編 こととからだの基礎的理解 第1章 こととからだのしくみの理解	3	・適応機制 ・ストレス ・自己防衛機制

	第3編 人間の成長と発達の基礎的理解 第2章 老年期の理解と日常生活	2	<ul style="list-style-type: none"> ・老化の特徴 ・エリクソン ・エイジズム
7	第3編 人間の成長と発達の基礎的理解 第2章 老年期の理解と日常生活	2	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病の特徴 ・高齢者に多い疾患
	介護実習		
8			
9	第2章 からだのしくみの理解	6	<ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経 ・末梢神経 ・脳 ・自律神経
10	第2章 からだのしくみの理解	8	<ul style="list-style-type: none"> ・骨 ・関節 ・筋肉
11	第2章 からだのしくみの理解	5	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓 ・動脈と静脈 ・リンパ
12	第2章 からだのしくみの理解	5	<ul style="list-style-type: none"> ・消化管、消化腺
1	第2章 からだのしくみの理解	3	<ul style="list-style-type: none"> ・気道 ・換気 ・外呼吸と内呼吸
	第2章 からだのしくみの理解	2	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚 ・視覚 ・聴覚 ・平衡
2	第2章 からだのしくみの理解	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ホルモンの働き ・種類
		1	<ul style="list-style-type: none"> ・男性・女性生殖器
	第2章 からだのしくみの理解	2	<ul style="list-style-type: none"> ・血液の成分 ・免疫 ・アレルギー
3	第2章 からだのしくみの理解	6	腎臓、尿道、膀胱、尿管、排泄のしくみ